

新型コロナウイルス感染症対応記録集

理事長からのご挨拶	4
本学の新型コロナウイルス感染症に関する取り組み	6
第1章 総論	
1 新型コロナウイルス対策本部会議	11
2 新型コロナウイルス対策本部会議（教学部門）	11
3 新型コロナウイルス対策本部会議（医療部門）	12
4 教職員向け通知	14
5 ウェブサイト特設ページ（緊急情報）の開設	20
6 ワクチン接種（医療従事者を除く）	20
7 り患者・濃厚接触者発生時の対応	22
8 キャンパス立ち入り規制	22
9 名古屋市立大学事業継続計画BCPマニュアル感染症編	22
【コラム①】 コロナ禍初期の意思決定について	23
第2章 教育	
1 授業等	
1 授業実施方針	27
2 教育の質保証	31
3 学修上の配慮	35
4 遠隔授業・課題研究による授業	37
5 対面型授業における感染対策	41
6 令和2年度におけるガイダンス実施方針	42
7 ガイダンス・説明会	44
8 新入生向けウェブサイト	44
9 各学部における対応状況	46
	医学部・医学研究科 46
	薬学部・薬学研究科 50
	経済学部・経済学研究科 54
	人文社会部・人間文化研究科 60
	芸術工学部・芸術工学研究科 67
	看護学部・看護学研究科 70
	総合生命理学部・理学研究科 74
2 学生生活	
1 感染対策のお願い	78
2 学生施設の利用	79
3 食堂の利用・黙食・見回り	79
4 課外活動・大学祭・新歓	80
5 図書館・情報処理教室の利用	84
3 学生支援	
1 学長からの動画メッセージ	87
2 経済的支援	87
3 食糧支援	89
4 ストレス・不安への対処、保健管理センターによる相談等	90
5 キャリア支援センターによる就職支援・ガイダンス等	91
6 指導教員・職員による相談、連絡等	92
7 海外派遣	93
8 留学生の受入・支援	96
【コラム②】 学生の感染対策について（授業）	101
【コラム③】 学生の感染対策について（課外活動）	101

4	入試	1	入試当日の感染対策・追試験・入学手続	102
		2	オープンキャンパス	103
		3	大学院説明会	108
<hr/>				
第3章	大学運営			
1	行事	1	卒業式・修了式・入学式	113
		2	開学70周年記念事業	115
			【コラム④】卒業式・入学式の開催方法について	120
2	社会貢献活動	1	市民公開講座	121
		2	名市大ブックス	125
		3	接種会場貸付	127
			【コラム⑤】市民公開講座から名市大ブックスへ	129
3	勤務・サービス	1	在宅勤務・分散勤務	130
		2	早出遅出勤務	130
		3	自宅待機	131
		4	ウェブ会議	134
			【コラム⑥】在宅勤務等の制度作りについて	135
<hr/>				
第4章	大学病院群			
1	名古屋市立大学病院	1	新型コロナウイルス感染症対応のあゆみ	139
		2	患者受け入れ	145
		3	医療従事者の派遣	139
		4	その他病院運営	161
			【コラム⑦】院内の感染対策について	169
2	東部医療センター	1	新型コロナウイルス感染症対応のあゆみ	170
		2	患者受け入れ	181
		3	医療従事者の派遣	190
		4	その他病院運営	191
		5	高次ウイルス感染症センター	197
			【コラム⑧】初期の患者受け入れについて	198
3	西部医療センター	1	新型コロナウイルス感染症対応のあゆみ	199
		2	患者受け入れ	204
		3	医療従事者の派遣	212
		4	その他病院運営	213
			【コラム⑨】コロナに感染した産婦の出産に寄り添って	221
4	みどり市民病院			222
5	みらい光生病院			223
			【コラム⑩-1】「ALL名市大病院」で立ち向かったCOVID-19パンデミック	224
			【コラム⑩-2】コロナ禍における救急対応について	225
6	ワクチン接種について	1	基本型接種医療機関として	226
		2	集団接種・大規模集団接種（名古屋市）への医療従事者派遣	231
			【コラム⑪】大規模集団接種の調整について	235
特別企画	座談会「未知知るべ」			237
編集後記				249

理事長からのご挨拶

令和2年1月、日本国内で最初の感染者が発生した新型コロナウイルス感染症（以下、ウイルス感染症）は、感染の波を繰り返しながら、わが国のみならず世界中の人たちを混乱と苦悩に陥れ、不幸にも多くの方々が命を落とされました。ここに謹んでお悔やみ申し上げます。

本記録集をまとめるにあたり、その経緯と理由を中心にお話をさせていただきます。

この4年間、本学では、教育、学生支援、研究、医療、国際交流、大学運営などに学内が一致協力して対応しましたが、これまで経験したことがない未曾有の危機管理に追われる日々が続きました。全てが初めてのことばかりなので、政府・県・市の方針が遅れたり、時には突如変更を余儀なくされたこともありました。

このようなウイルス感染症に苦闘する日々にあって常に思っていたことは、ウイルス感染症が落ち着けば、後世の方々のために記録集を残すことです。令和5年5月から、感染症法上の位置づけが5類となり、これをひとつの区切りとして「新型コロナウイルス感染症対応記録集」をまとめることになりました。

ウイルス感染症が小康状態になったこの時期に、喉元過ぎれば熱さを忘れる、にならないように、今回の経験を生かし、ソフトとハードの両面で予防対策と危機管理の見直しをすることが肝要だと考えます。その際、本記録集が他の資料とともに参考の一助としてお役に立てればと思います。

人類の歴史は感染症との戦いであったとも言われます。有史以来、海外ではペスト、天然痘、インフルエンザ、マラリアや新興感染症などが発症し、多くの死者を出しました。わが国でも、8世紀に聖武天皇が天然痘撲滅など社会の平穏を願って東大寺を建立された話は有名です。

パンデミック感染症の一因は、自然破壊により未知のウイルスや病原体が出現するためだとも言われています。人類が文明化し都市化が進み、貿易や交通が発展することで感染症の拡大は加速され、世界規模になり、今後、未知のパンデミック感染症がもっと早いサイクルでやってくるのが懸念されています。

さらに、わが国では、パンデミック感染症だけでなく、大災害や大震災が多発し、それらの迅速な危機管理が重要です。本記録集はそのような時に多少なりとも応用していただける箇所があるかと愚考します。

本学ではこの4年間、対面授業や課外活動の制限、入学式や卒業式などの行事の延期や中止など、学生生活に大きな影響がありました。それらに対しては、本学の教職員は、教育の質の担保と学生生活の充実に向けて、厳しい環境の中、精力的に努めました。改めて深く感謝申し上げます。

医療面においては、令和3年度に、東部医療センター、西部医療センターが大学病院になりました。その準備段階である令和元年度末に感染症が発生し、大学病院化を念頭に置きながら3病院が一体となり、

救急患者の受け入れ、対応病床の確保などの対応を進めました。令和3年度の大学病院化後には、名古屋市の大規模接種会場への医療職の派遣などについて、名古屋市と協力して迅速に対応することができました。

また、令和5年度には、みどり市民病院、みらい光生病院が大学病院化され、5つの附属病院のすべてに対応病床を設け、各大学病院がもつ機能の特徴を生かした感染症対応にあたりました。この点は、大学病院群になったスケールメリットのささやかな成果の一つかと思います。

本記録集では、コロナ禍において、教職員はどのようなことを考え、どのような対応をしたのか、うまくいったことは何で、明らかになった課題は何かなどをまとめています。本記録集の編集にご尽力いただいた教職員の方々に深く感謝申し上げます。





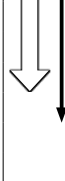





ポストコロナ時代における大学運営や危機管理を考えるための資料として、また、あつてはならないことですが、今後の不測の事態を未然に予防し、かつ乗り越えるための資料として、本記録集が多少なりともお役に立てればと存じます。

令和6年2月29日

公立大学法人名古屋市立大学

理事長 郡 健二郎

本学の新型コロナウイルス感染症に関する取り組み

年月	流行	国・愛知県・名古屋市における状況	本学の対応
令和2年1月	 第一波	国内で初めて陽性患者が報告される (1/16)	海外渡航制限を開始 (1/31～) 市長定例会見に理事長・中村教授が出席 (2/3)
令和2年2月		国・県に新型コロナウイルス感染症本部会議設置 (1/30) 新型コロナウイルス感染症が2類感染症に指定 (2/1) 名古屋市衛生研究所にてPCR検査開始 (2/1)	
令和2年3月		名古屋市で陽性患者第1号が発生 (2/14)	
令和2年4月		 県緊急事態宣言 (4/10～5/26) 国緊急事態宣言 (4/16～5/14)	
令和2年5月	  第二波	 県緊急事態宣言 (4/10～5/26) 国緊急事態宣言 (4/16～5/14)	新型コロナウイルス対策本部を組織 (3/12) 令和元年度卒業式を中止 (3/25) 令和2年度前期の授業方針を決定 (3/31) 令和2年度入学式を中止 (4/6) 遠隔授業を開始 (4/22～) 病院を除くキャンパスへの立入制限を実施 (学生・学外者原則立入禁止 (4/13～5/18) 学生の立入事前許可制導入 学外者の立入自粛 (5/19～5/31))
令和2年6月		本学独自の支援金支給を決定 対面型授業を一部で実施開始 (6/3～)	
令和2年7月		  県嚴重警戒措置 (7/29～8/5) 県緊急事態宣言 (8/6～8/24) 県嚴重警戒措置 (8/25～9/17)	在宅勤務制度開始 (8/3～) 令和2年度後期の授業方針を決定 (8/11)
令和2年8月	  第三波	県が新型コロナウイルス感染症の専門病院である「愛知病院」を開設 (10/15)	愛知病院への医師派遣開始 (10/12～) 名市大ブックス第1巻発売 (10/30) 開学70周年記念事業を延期 (10/31)
令和2年9月		県嚴重警戒措置 (8/25～9/17)	
令和2年10月		県嚴重警戒措置 (11/19～1/13)	
令和2年11月		国緊急事態宣言 (1/14～2/28)	令和3年度前期の授業方針を決定 (2/24) BCPマニュアル(感染症編)策定
令和2年12月		県嚴重警戒宣言 (3/1～3/21)	収容人数を減らし、ハイブリッド形式で令和2年度卒業式 (3/24)・修了式 (3/24)、令和3年度入学式 (4/5) を実施 東部医療センターに高次ウイルス感染症センターを開設 (4/1)
令和3年1月		県嚴重警戒宣言 (3/1～3/21)	
令和3年2月			
令和3年3月			

年月	流行	国・愛知県・名古屋市における状況	本学の対応	
令和3年4月	第四波			
令和3年5月		国まん延防止等重点措置 (4/20~5/11)		
令和3年6月		市が集団接種を開始 (5/12)	集団接種会場への医療従事者の派遣開始 (5/12~)	
令和3年7月		国緊急事態宣言 (5/12~6/20)		
令和3年8月		国まん延防止等重点措置 (6/21~7/11)		
令和3年9月		市がパロマ瑞穂スタジアムにおいて大規模集団接種を開始 (7/1)	大規模集団接種会場への医療従事者の派遣開始 (7/1~)	
令和3年10月		県嚴重警戒措置 (7/12~8/7)	パロマ瑞穂スタジアムで学生・教職員の集団接種を実施 (7/29~)	
令和3年11月		国まん延防止等重点措置 (8/8~8/26)		
令和3年12月		国緊急事態宣言 (8/27~9/30)	令和3年度後期の授業方針を決定 (9/6)	
令和4年1月		第五波	県嚴重警戒措置 (10/1~10/17)	開学70周年記念事業の実施を再延期
令和4年2月				
令和4年3月	県嚴重警戒措置 (1/15~1/20)			
令和4年4月	国まん延防止等重点措置 (1/21~3/21)		開学70周年記念式典を実施 (2/19)	
令和4年5月			令和4年度前期の授業方針を決定 (3/2)	
令和4年6月	第六波			
令和4年7月				
令和4年8月				
令和4年9月			県嚴重警戒措置 (3/22~8/4)	日本ガイシフォーラムで学生・教職員に追加接種を実施 (5/12~)
令和4年10月	第七波			
令和4年11月			海外渡航の再開 (7/1~)	

年月	流行	国・愛知県・名古屋市における状況	本学の対応
令和4年8月	第七波	県BA. 5対策強化宣言 (8/5~9/30) 県BA. 5対策緊急アピール (8/12~8/21)	令和4年度後期の授業方針を決定 (9/14) 大学祭の再開
令和4年9月			
令和4年10月			
令和4年11月			
令和4年12月	第八波	県医療ひっ迫防止緊急アピール (12/8~2/19) 県厳重警戒措置 (2/20~2/26) 県警戒領域措置 (2/27~5/7)	令和5年度前期の授業方針を決定 (2/1)
令和5年1月			
令和5年2月			
令和5年3月			
令和5年4月	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の 位置付けが5類に移行 (5/8)		
令和5年5月			

